

おはようございます。

一学期終わりに「君たち若者には、多少の無茶な事や無理だと思うことに、是非チャレンジしてほしい」という話をしました。みなさん、夏休みはどう過ごしましたか？長かったなーと思う人もいると思いますが、あっという間に終わってしまったと、感じている諸君の方が多いと思います。

夏休みがほとんどなく、部活や勉強に明け暮れたという人もいますし、終業式以来の学校、という人もいるでしょう。どちらであってもよい夏休みであったと感じていることを願っています。

この後、たくさんの表彰や生徒会による壮行会がありますが、本当に多くの生徒が夏休み中も素晴らしい活躍を見せてくれました。私が、すべての様子を見ることはできなかったのですが、あえてどの部や誰かがという話はしませんが、見せて聞かせてもらった皆さんの様子は私にとって大変誇らしいものでした。ありがとうございました。

一つお話をします。

ある企業の掲示板には「いい社員」と「ダメな社員」という張り紙が張ってありました。

そこには「できる方法」と「できない理由」という言葉があり、皆さんの想像通り、「できる方法」は「いい社員」の方に書いてあり、「できない理由」は「ダメな社員」の方に書いてあります。

企業だけでなく、学校でも同じです。部活でもクラス行事でも、また新たな企画を立てる時でもです。何か問題が起きた時や新たな事にチャレンジするとき「できる方法」を考える人と「できない理由」を考える2つに分かれます。

「できる方法」を考える人が多いほど、その組織は成長し、「できない理由」を並べる人が多いほど、その組織は衰退していきます。

またある方は「人というのは理屈の天才です。できない理由、やらない理屈を挙げれば、いくらでも並べ立てることができます。」と論説していました。

皆さんや皆さんの周りはいかがですか、すぐに自分にとって都合のいい理屈や言い訳を上手にできる人はいませんか？ もしあなた自身にそういう点が少しあったら、今日からは、多少の困難があったとき、心の中で「できない理由」を考えるより「できる方法」を探す努力をしてみてください。

さて、今日から2学期が始まりますが、皆さんご存じのとおり、文化祭をはじめ様々な行事が待っています。生徒同士で協力し合わなければならない場面が数多くあります。簡単に「できない理由」を並べるのではなく、みんなで協力し「できる方法」を見つけ、自分たちで、「やってよかった」と思えるようにしてください

光陵生は、何事も誠実に、一生懸命取り組むことのできる人たちです。互いに協力し今学期もまた、光陵生のキラキラしている姿を是非見せてください。期待しています。

以上で、私の話を終わります。